## 小川町立欅台中学校「学校だより」

## 令和5年3月16日 第28号



「学校教育目標」 絆を深め、地域社会に 貢献できる生徒の育成 〇自ら学ぶ 〇思いやる 〇体を鍛える

## 文責 竹田 圭志

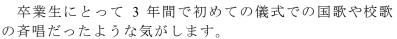
## 素晴らしい卒業式でした

3年生保護者の皆様、昨日はご多用の中、卒業式においでいただきありがとうございました。お子様の晴れ舞台はいかがだったでしょうか。



吹奏楽部の演奏と会場からの 拍手で迎えられる中、堂々と入 場した卒業生。多くの生徒がマ スクを外し、久しぶりに素顔を 見せてくれました。

教頭先生の「開会の言葉」。 吹奏楽部演奏での「国歌斉唱」。 ピアノ伴奏での「校歌斉唱」。



卒業証書授与では、担任の吉本先生、堀之内先生の呼名に大きな返事をしました。担任の先生にとってこれほど嬉しいことはなかったと思います。証書を渡すとき、一人一人に短い言葉をかけました。にっこり笑って証書を受け取ってくれました。欅台中学校でこの笑顔が見られるのも今日が最後です。うれしさと寂しさがこみ上げてきます。

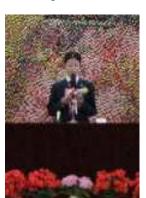






「校長の言葉」「お祝いの言葉(副町長:藤井 大司 様、PTA 会長:福島 邦男 様)」では、卒業生はもちろん、在校生の聞く態度も素晴らしかったです。

在校生から卒業生に向けられた「送る言葉」。在校生代表生徒(2年生)が、様々な行事や部活動、委員会活動などでお世話になった3年生へ、抱えられないほどの感謝の気持ちを精一杯伝えました。また、「在校生合唱(Let's Search For Tomorrow)」で卒業生への思いをしっかりと形にしました。



卒業生からお世話になった在校生や先生方、家族への感謝の気持ちを伝えた「別れの言葉(ピアノ BGM 担当 3 年生)」。卒業生代表生徒(3 年生)が 涙ながらに熱く語る言葉は、会場を感動と涙で包みました。笑顔で送って

いたように見えた中学校生活にも、いろいろな悩みや苦しむ場面があったこと、それを支えてくれた仲間がいたことを伝えてくれました。

「卒業生合唱(仰げば尊し・巣立ちの歌)」、「別れの言葉」の余韻が残る中、時折ハンカチで目頭を押さえなが



らの合唱でしたが、卒業生の「これが私たち3年生で歌う最後の曲なんだ!」という気持ちが伝 わってくる素晴らしいものでした。







1・2・3 年生がそろっての最後の「全校合唱(春風の中で)」は、卒業生から在校生に襷(たすき)が渡されるような…そんな感じがしました。卒業生の歌声の迫力もさることながら、在校生も「明日からは、私たちに任せてください!」と言わんばかりに心を込めて歌ってくれました。

教頭先生の「閉 式の言葉」。そして、「卒業生退場」 の号令で教職員

席、保護者席に全員が顔を向けて感謝のコメント。私の方 こそ、ありがとうございました。

吹奏楽の演奏で退場する 3 年生に大きな拍手が送られました。

式終了後に、ご来賓の皆様方からも、「感動的で素晴らしい卒業式でした」と、お褒めの言葉をいただきました。



これからの人 生、平坦ではない と思います。でも、 そこに巣立ってい く決意と覚悟を感 じる式でした。







